

がん情報サロンボード

2016/05/16

がん情報サロン 富田 明人

2,015/山陰のがん診療連携拠点病院の現況報告

今年も国立がん研究センターに全国のがん診療連携拠点病院の情報を集計し公表しています。今回は平成27年9月1日時点での病院情報をホームページに掲載しています。

この資料から地域の病院の状況を知るために山陰両県のがん診療連携拠点病院の情報の一部を抜粋、編集してお届けいたします。

平成27年の医療にかかわる専門医、スタッフ数は島根県1,230人で、昨年比109人の増、鳥取県は1,085人、49人の増でした。時系列の把握が必要と思い2011年からの5年間の人数を併記し流れを把握出来るようにしました。

今回から新しく頭頸部がん専門医、消化器外科がん治療医、胸部外科認定医・指導医等の専門医数も記載されています。

がん治療の主流は、手術、放射線治療、化学療法等ですが、特に放射線、化学療法の現状についてそれぞれの専門医数を集計しました（表一1、表一2）

両県とも放射線専門医等の環境整備は進んでいますが、放射線治療医は2011年からのスタッフの増員は認められません。

病理診断に必要な病理専門医、細胞診断専門医、細胞検査士は人員も充実してきました。（表一1、2）

化学療法のスタッフ数も島根44人（2011年）⇒75人（2015年）、鳥取25人⇒48人とスタッフは増えています。

患者数・診療件数の状況では、山陰両県のがん診療連携拠点病院の年間新入院患者数の前年比は島根2,785人増、鳥取は213人減でした。年間新入院がん患者数は島根561人減、鳥取453人の減であり減少傾向です。

放射線治療数は島根1,031人、鳥取845人と変わりはなく受診者数は外来乳がん患者が多数を占めています。

化学療法の延べ患者数も外来患者数が入院患者数より多く外来での治療ができる環境の整備が進んできたと考えられます

セカンドオピニオン年間外来受診件数は、島根68人、鳥取64人 年間の新入院患者比では0.6%でした。

島根県の放射線・病理専門医・化学療法専門医等の時系列推移										
	島根大学医学部付属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	8	4	3	3	2	20	21	21	14	18
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	1	3	1	0	7	6	6	4	6
日本医学放射線学会 医学物理士	2	0	1	0	0	3	4	3	3	3
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	2	1	3	1	2	9	6	6	5	6
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	1	1	3	1	2	8	7	8	8	6
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	1	1	1	0	3	1	0	0	
合計	15	8	14	7	6	50	45	44	34	39
(社) 日本病理学会 病理専門医/指導医	9	3	1	2	1	16	15	15	10	9
(社) 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	9	3	5	3	1	21	14	13	9	9
日本臨床細胞学会 細胞検査士	15	4	3	4	2	28	23	20	18	16
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	9	0	0	0	0	9	5	5	5	3
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	4	0	0	0	0	4				
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	2	2	0	0	0	4	3	2	1	1
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	3	3	2	1	1	10	10	9	8	8
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	4	20	4	3	6	37	38	34	33	29
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	3	2	2	2	2	11	9	7	5	3
合計	25	27	8	6	9	75	65	57	52	44

表一1

がんセンター開設を目指して

松江市立病院では、平成 29 年春の開設をめざして、がんセンターの建設を進められ、住み慣れた地域で安心・納得でき治療が受けられる環境整備が進められています。

今回整備されるのは放射線部門で高精度放射線治療装置の導入です。山陰初となる 2 種類の装置。ひとつはサイバーナイフで、ロボットアームにより多方面からの治療が行われ、監視システムにより高精度の治療がおこなえます。自動追尾し治療する機能も搭載しより非侵襲的に治療ができる特徴を持っています。

トゥルービーム TrueBeam 従来の強度変調放射線治療 (IMRT) に呼吸の動きを補正する機能をもった最も先進的な治療システムが導入されます。地域の治療のグレードアップすることが期待されています。

鳥取県の放射線・病理専門医・化学療法専門医等の時系列推移

	鳥取大学医学部附属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	13	1	2	0	2	18	23	21	25	8
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	0	1	2	0	5	5	5	5	20
日本医学放射線学会 医学物理士	1	0	0	1	0	2	2	2	2	2
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	3	1	3	1	2	10	10	9	7	5
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	4	1	3	1	2	11	11	10	10	8
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	1	0	0	1	2	2	1	1	
合計	23	4	9	5	7	48	53	48	50	43
(社) 日本病理学会 病理専門医/指導医	10	2	3	2	2	19	18	11	5	3
(社) 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	15	1	4	1	2	23	24	18	15	12
日本臨床細胞学会 細胞検査士	4	2	0	3	1	10	10	13	16	11
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	1	2	1	1	0	5	11	3	7	7
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	4	2	0	1	0	7	9			
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	3	0	0	0	0	3	1	1	0	0
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	1	1	1	0	3	6	3	6	7
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	5	3	8	2	3	21	17	17	9	5
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	4	2	1	0	2	9	8	7	6	6
合計	17	10	11	5	5	48	52	31	28	25

表一2

(富田)

2015/医師等の専門性に関する資格名に該当する人数について

	島根 大学 医学 部付 属病	島根 県立 中央 病院	松江 市立 病院	松江 赤十 字病 院	浜田 医療セ ンター	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社) 日本整形外科学会 整形外科専門医	13	6	4	5	2	30	29	26	23	28
(社) 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	5	3	1	0	1	10	11	10	9	11
(社) 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	18	2	4	7	1	32	34	35	34	27
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	8	4	3	3	2	20	21	21	14	18
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	1	3	1	0	7	6	6	4	6
(財) 日本眼科学会 眼科専門医	7	1	2	3	1	14	14	13	15	16
(社) 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	9	8	6	6	3	32	32	34	30	30
(社) 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	6	2	2	3	0	13	12	12	14	15
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医	1	0	0	0	0	1				
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん暫定指導医	0	0	0	0	0	0				
(社) 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	9	3	2	3	1	18	17	17	17	19
(社) 日本形成外科学会 形成外科専門医	1	1	0	1	0	3	5	6	6	6
(社) 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	0	0	0	0	0				
(社) 日本病理学会 病理専門医/指導医	9	3	1	2	1	16	15	15	10	9
(社) 日本内科学会 総合内科専門医	23	13	5	3	2	46	47	53	37	37
(社) 日本外科学会 外科専門医	30	17	11	13	7	78	70	65	64	61
(社) 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	6	2	2	4	1	15	16	15	12	12
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	13	2	4	4	0	23	21	22	19	18
(社) 日本感染症学会 感染症専門医	1	1	1	1	1	5	4	4	3	3
(社) 日本救急医学会 救急科専門医	2	6	0	2	2	12	9	9	11	12
(社) 日本血液学会 血液専門医	10	2	1	1	0	14	12	13	11	11
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	5	1	2	2	2	12	10	10	9	7
(社) 日本循環器学会 循環器専門医	8	7	2	3	1	21	23	24	23	29
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	23	8	9	4	2	46	45	46	45	39
(社) 日本腎臓学会 腎臓専門医	3	2	0	2	0	7	8	5	4	4
(社) 日本小児科学会 小児科専門医	21	6	4	5	1	37	35	33	27	28
(社) 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	4	0	1	3	0	8	15	13	13	11
日本甲状腺外科学会 内分泌外科専門医	6	0	1	0	0	7				
(社) 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	7	3	6	6	1	23	25	24	20	21
(社) 日本消化器外科学会 消化器外科指導医	7	2	4	4	0	17				

	島根 大学 医学 部付 属病	島根 県立 中央 病院	松江 市立 病院	松江 赤十 字病 院	浜田 医療セ ンター	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社)日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	2	3	5	3	1	14				
(社)日本超音波医学会 超音波専門医	5	0	1	3	0	9	14	14	11	10
(社)日本臨床細胞学会 細胞診専門医	9	3	5	3	1	21	14	13	9	9
(社)日本透析医学会 透析専門医	6	2	1	1	0	10	8	7	4	5
(社)日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	4	5	3	5	3	20	17	17	17	17
(社)日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	3	1	2	2	0	8	8	8	7	7
(社)日本老年医学会 老年病専門医	5	2	0	0	0	7	5	5	4	5
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	2	4	0	2	0	8	9	9	9	8
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	1	6	0	1	0	8	4	4	4	4
日本胸部外科学会 認定医	0	0	0	2	0	2				
日本胸部外科学会 指導医	1	0	0	1	0	2				
(社)日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	15	4	6	4	1	30	32	34	34	35
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	1	0	0	0	0	1	1	1	2	2
(社)日本神経学会 神経内科専門医	12	3	2	3	0	20	18	17	15	17
(社)日本リウマチ学会 リウマチ専門医	5	2	0	1	0	8	8	6	7	8
(社)日本乳癌学会 乳腺専門医	3	2	1	2	1	9	8	7	5	5
(社)日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	6	1	0	0	0	7	6	5	5	3
(社)日本東洋医学会 漢方専門医	1	1	0	0	0	2	2	2	1	3
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	5	2	2	0	0	9	9	9	10	7
(社)日本アレルギー学会 アレルギー専門医	5	0	1	1	0	7	7	7	6	5
(社)日本核医学会 核医学専門医	2	0	3	2	0	7	6	7	5	5
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	1	1	0	0	0	2	1	1	1	1
(社)日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	0	2	0	0	2	1	1	1	1
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	2	2	1	0	0	5	5	5	4	4
(社)日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	6	0	2	0	1	9	8	9	8	7
(社)日本熱傷学会 熱傷専門医	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	2	2	1	0	0	5	5	3	4	4

	島根 大学 医学 部付 属病	島根 県立 中央 病院	松江 市立 病院	松江 赤十 字病 院	浜田 医療セ ンター	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	9	0	0	0	0	9	5	5	5	3
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	4	0	0	0	0	4				
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	2	1	0	2	0	5	3	3	1	1
(社) 日本生殖医学会 生殖医療専門医	2	2	0	0	0	4	4	4	4	3
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神 経専門医	2	0	0	1	0	3	2	2	2	2
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(社) 日本総合病院精神医学会 一般病院 連携精神医学専門医	4	1	1	0	0	6	5	3	2	0
日本精神神経学会 精神科専門医	3	3	2	2	0	10	13	13	11	12
日本緩和医療学会 専門医	0	0	1	0	2	3	1	1	1	1
日本緩和医療学会 暫定指導医	1	0	0	0	0	1	2	2	2	2
がん治療認定医機構 がん治療認定医	33	10	14	9	1	67	66	61	70	49
がん治療認定医機構 暫定教育医	17	6	4	0	1	28	29	29	30	28
(社) 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視 鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	4	0	0	0	0	4	3	3	5	5
日本内視鏡外科学会 産婦人科領域 技術 認定所得者	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技 術認定所得者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領 域 技術認定所得者	5	0	1	0	0	6	5	5	4	5
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術 認定所得者	3	0	0	1	0	4	5	3	2	2
日本IVR学会 IVR専門医	4	0	0	0	0	4	4	5	3	4
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学 認定医	3	2	2	0	1	8	9	10	9	8
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員 会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	11	3	0	2	0	16	14	15	17	13
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員 会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	9	5	9	4	0	27	28	30	34	31
歯科医師										
(社) 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	2	2	3	1	0	8	6	5	5	5
(社) 日本病理学会 口腔病理専門医	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1

	島根 大学 医学 部付 属病	島根 立 中央 病院	松江 市立 病院	松江 赤十 字病 院	浜田 医療セ ンター	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
看護師										
(社) 日本看護協会 がん看護専門看護師	1	0	1	1	0	3	1	1	2	0
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	3	2	2	2	2	11	9	7	5	3
(社) 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	1	0	1	1	3	3	3	2	2
(社) 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	1	1	0	1	0	3	2	2	2	2
(社) 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	2	1	1	1	2	7	7	9	9	8
(社) 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	2	2	1	2	1	8	6	6	6	6
(社) 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	1	1	0	1	3	2	2	2	1
(社) 日本看護協会 手術看護認定看護師	1	1	0	0	1	3	3	3	3	2
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	1	1	1	0	3	1	0	0	
日本IVR学会認定看護師	1	2	0	0	0	3	2	2	0	0
その他専門的技術・知識を有する医療従事者										
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	2	2	0	0	0	4	3	2	1	1
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	3	3	2	1	1	10	10	9	8	8
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	2	0	1	0	0	3	2	0		
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	4	20	4	3	6	37	38	34	33	29
日本臨床細胞学会 細胞検査士	15	4	3	4	2	28	23	20	18	16
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	1	7	4	5	2	19	22	25	22	25
日本医学放射線学会 医学物理士	2	0	1	0	0	3	4	3	3	3
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	2	1	3	1	2	9	6	6	5	6
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	1	1	3	1	2	8	7	8	8	6
四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	14	3	9	18	2	46	31	32	33	21
	537	241	193	191	70	1232	1121	1,097	1,018	965

2014年 計	474	241	150	172	67
---------	-----	-----	-----	-----	----

2015/ 患者数・診療件数の状況

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市立 病院	松江赤十 字病院	浜田医療 センター	2015年計	2014年
年間新入院患者数（平成26年1月1日～12月31日）※1		11,588	13,172	8,173	12,696	6,789	52,418	49,623
	年間新入院がん患者数（平成26年1月1日～12月31日）※	3,377	2,413	1,521	2,543	1,265	11,119	11,680
	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	29.1%	18.4%	18.6%	20.0%	18.6%	21.2%	23.5%
年間外来がん患者延数（平成26年1月1日～12月31日）		53,920	47,388	38,431	17,121	18,365	175,225	175,916
年間院内死亡がん患者数（平成26年1月1日～12月31日）		188	241	204	206	126	965	1,004
新入院患者数(原則、平成27年4月1日～7月31日までの新入院患者。) ※1		4,132	4,259	2,792	4,443	2,415	18,041	16,667
	新入院がん患者数 ※2	1,172	737	527	906	586	3,928	3,229
	(入院患者数に占めるがん患者の割合)	28.3%	17.3%	18.9%	20.4%	24.3%	21.8%	0
	うち肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)※	190	106	44	162	53	555	463
	うち胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)	89	113	85	102	125	413	544
	うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)	109	111	85	93	120	518	471
	うち肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)	90	54	34	49	43	270	297
	うち乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)	48	66	58	81	22	275	260
2)麻酔及び手術等の状況(平成27年4月1日～7月31日)								
全身麻酔件数総数		939	682	469	107	425	2,622	2,595
ア	悪性腫瘍の手術件数の総数	440	234	115	300	33	1,122	1,419
イ	肺がんの手術件数							
	開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	0	1	5	3	0	9	29
	胸腔鏡下手術 K514-2\$	36	16	1	7	3	63	69
ウ	開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	4	23	10	8	14	59	52
	腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	12	9	3	6	4	34	46
	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0	6	0	1	23	30	4
	内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	24	15	12	23	0	74	99
エ	大腸がん手術 (C18\$, C19, C20)の手術件数							
	開腹手術 K7193, K739\$, K740\$	4	16	10	14	3	47	77
	腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$	29	15	14	17	19	94	69
	内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K739-2	52	16	25	23	3	119	127
オ	肝臓がん(C22\$)の手術件数							
	開腹手術 K695\$	2	2	1	4	0	9	11
	腹腔鏡下手術 K695-2	8	0	0	0	0	8	9
	マイクロ波凝固法 K697-2	0	0	0	0	0	0	0
	ラジオ波焼灼療法 K697-3	19	16	7	5	16	63	38
カ	乳がん (C50\$)の手術件数							
	手術 K476\$	21	15	18	19	10	83	95
	乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	0	0	0	0	0	0
	乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	3	0	0	0	0	3	5
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	9	0	0	0	0	9	0
	乳房再建術(乳房切除後)二期時に117モの K476-22	0	0	0	0	0	0	0
キ	転移性肺がん (C780)の手術件数							
	開胸手術 K511\$, K514\$, K518	0	0	0	0	0	0	1
	胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	4	2	0	2	1	9	25
ク	転移性肝がん (C787)の手術件数						0	0
	開腹手術 K695\$	1	1	0	2	1	5	4
	腹腔鏡下手術 K695-2	1	0	0	0	2	3	5
3)放射線治療								
※以下、放射線治療件数に関する項目は、下記を参考に、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。								

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市立 病院	松江赤十 字病院	浜田医療 センター	2015年計	2014年	
ア-1	すべてのがん対象したのべ患者数(平成26年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)								
	例:平成26年3月に新患として放射線治療を受け、同10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。								
	体外照射		323	201	150	200	157	1,031	1,084
	そのうち特殊なもの						0		
		定位照射(脳)	0	10	0	0	0	10	13
		定位照射(体幹部)	4	0	0	0	0	4	4
	強度変調放射線治療(IMRT)	39	16	13	0	0	68	60	
	・小線源治療	11	0	0	0	0	11	10	
ア-2	我が国に多いがんを対象したのべ患者数(平成27年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)								
	例:平成27年4月に新患として放射線治療を受け、同7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。								
	・入院								
		肺がん	17	24	0	4	4	49	49
		胃がん	0	0	0	0	0	0	2
		肝がん	1	1	0	0	0	2	6
		大腸がん	2	5	1	0	4	12	11
		乳がん	0	1	0	5	2	8	20
	・外来								
		肺がん	4	1	2	1	3	11	13
	胃がん	0	0	0	0	1	1	1	
	肝がん	3	0	0	0	0	3	1	
	大腸がん	2	0	7	0	5	14	6	
	乳がん	17	9	9	12	7	54	51	
イ-1	すべてのがんを対象とした照射回数(平成27年4月1日～7月31日ののべ照射回数)								
	・体外照射		2,871	2,556	3,701	1,676	940	11,744	11,743
	そのうち特殊なもの								
		定位照射(脳)	0	6	0	0	0	6	10
		定位照射(体幹部)	4	0	0	0	0	4	4
		強度変調放射線治療(IMRT)	506	304	5	0	0	815	1,698
	・小線源治療	8	0	0	0	0	8	13	
イ-2	我が国に多いがんを対象したのべ照射回数(平成27年4月1日～7月31日)								
	・入院								
		肺がん	265	283	0	50	45	643	951
		胃がん	0	0	0	0	0	0	55
		肝がん	15	18	0	0	0	33	76
		大腸がん	53	93	8	0	63	217	208
		乳がん	0	52	6	106	55	219	226
	・外来								
		肺がん	84	15	198	24	56	377	241
		胃がん	0	0	0	0	10	10	25
	肝がん	45	0	0	0	0	45	8	
	大腸がん	41	0	596	0	136	773	282	
	乳がん	413	189	535	347	195	1,679	1,760	
4)がんに係る化学療法(平成27年4月1日～7月31日)									

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市立 病院	松江赤十 字病院	浜田医療 センター	2015年計	2014年	
ア	のべ患者数	入院患者数	459	282	130	431	142	1,444	1,505
		外来患者数	232	467	172	495	355	1,721	1,876
イ	のべ処方件数	入院処方数	1,184	1,313	270	1885	381	5,033	4,757
		外来処方数	727	2,119	628	2275	967	6,716	6,256
ウ	のべ患者数(内服のみ)	入院	53	39		52	30	174	184
		外来	178	562		236	143	1,119	1,162
エ	のべ処方件数(内服のみ)	入院	1078	768		1,225	225	3,296	2,832
		外来	13,310	55,038		17,708	4004	90,060	94,278
5)検査等の実績状況									
ア	病理診断の件数								
	病理診断(平成26年1月1日～12月31日)		6,045	5,824	2,854	6,090	2,741	23,554	22,968
	細胞診診断(平成26年1月1日～12月31日)		6,409	6,091	3,981	1,957	3,061	21,499	21,603
	病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成26年1月1日～12月31日)		558	333	130	317	110	1,448	1,426
	剖検(平成26年1月1日～12月31日)		30	19	5	9	1	64	69
	剖検率(平成26年1月1日～12月31日)		7.3%	3.9%	1.2%	1.7%	0.2%		
イ	上部消化管内視鏡検査 (食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		3,721	4,677	5,746	3,650	2,759	20,553	19,583
	気管支内視鏡検査 (気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		183	161	67	104	50	565	1,156
	大腸内視鏡検査 (大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		1,725	2,827	1,398	2,122	1332	9,404	8,707
	血管連続撮影 (動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		1,204	1,355	842	1,454	930	5,785	5,480
	CT検査 E2001\$		27,885	22,334	16,696	19,552	14,460	100,927	103,702
	CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合		41	34	27	0	0	102	127
	MRI検査 E202\$		10,760	5,316	4,274	6,920	6,088	33,358	34,422
	RI診断検査(シンチグラム) E100\$		3,147	1,216	264	477	286	5,390	4,812
	シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101		2,426	375	456	447	180	3,884	3,455
	PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$, E101-		0	243	111	1,674	952	2,980	2,707
	年間セカンドオピニオン外来受診件数			26	2	36	3	1	68

2015/医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について

	鳥取大学医学部附属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社) 日本整形外科学会 整形外科専門医	14	4	4	3	3	28	27	28	27	26
(社) 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	6	0	0	1	0	7	7	8	7	8
(社) 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	13	2	4	4	1	24	24	25	26	26
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	13	1	2	0	2	18	23	21	25	8
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	0	1	2	0	5	5	5	5	20
(財) 日本眼科学会 眼科専門医	12	0	2	2	0	16	20	18	22	14
(社) 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	12	0	6	3	3	24	28	28	28	24
(社) 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	13	0	1	0	1	15	16	16	19	15
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医	3	0	0	0	0	3				
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん暫定指導医	3	0	0	0	0	3				
(社) 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	8	2	1	2	0	13	16	14	15	16
(社) 日本形成外科学会 形成外科専門医	4	0	2	0	0	6	4	3	3	3
(社) 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	0	0	0	0	0				
(社) 日本病理学会 病理専門医/指導医	10	2	3	2	2	19	18	11	5	3
(社) 日本内科学会 総合内科専門医	25	4	5	6	3	43	38	36	35	65
(社) 日本外科学会 外科専門医	35	6	12	7	7	67	61	56	56	48
(社) 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	4	1	2	2	0	9	12	13	7	5
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	12	1	3	1	1	18	19	19	18	16
(社) 日本感染症学会 感染症専門医	2	1	0	0	0	3	1	1	2	2
(社) 日本救急医学会 救急科専門医	2	1	5	0	1	9	6	5	6	5
(社) 日本血液学会 血液専門医	4	0	2	0	0	6	8	7	7	8
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	19	2	3	1	0	25	20	24	23	19
(社) 日本循環器学会 循環器専門医	14	0	3	2	4	23	25	24	22	16
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	19	5	4	2	4	34	36	35	33	25
(社) 日本腎臓学会 腎臓専門医	6	0	1	0	0	7	8	6	4	6
(社) 日本小児科学会 小児科専門医	33	3	7	2	4	49	50	45	41	38
(社) 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	8	0	1	1	0	10	9	9	3	7
日本甲状腺外科学会 内分泌外科専門医	3	0	0	0	0	3				
(社) 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	10	5	5	2	1	23	21	27	22	19

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
(社)日本消化器外科学会 消化器外科 指導医	4	0	5	1	1	11				
(社)日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	6	3	5	2	1	17				
日本肝肝胆膵外科学会 高度技能専門医	1	0	0	0	0	1				
日本肝肝胆膵外科学会 高度技能指導医	1	2	1	1	0	5				
(社)日本超音波医学会 超音波専門医	3	0	1	1	0	5	5	4	5	4
(社)日本臨床細胞学会 細胞診専門医	15	1	4	1	2	23	24	18	15	12
(社)日本透析医学会 透析専門医	4	0	0	0	0	4	2	2	3	3
(社)日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	7	0	2	2	2	13	13	16	14	14
(社)日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	3	0	1	0	0	4	4	4	5	5
(社)日本老年医学会 老年病専門医	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	6	0	3	0	2	11	7	3	6	7
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	1	1	1	0	1	4	8	4	8	5
日本胸部外科学会 認定医	2	0	3	0	2	7				
日本胸部外科学会 指導医	1	0	1	0	1	3				
(社)日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	8	3	4	3	5	23	25	25	26	19
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0
(社)日本神経学会 神経内科専門医	12	0	3	0	0	15	19	17	18	14
(社)日本リウマチ学会 リウマチ専門医	5	1	1	0	1	8	9	10	8	6
(社)日本乳癌学会 乳腺専門医	2	0	0	1	2	5	3	4	3	5
(社)日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	4	0	0	0	0	4	3	4	3	
(社)日本東洋医学会 漢方専門医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	4	0	0	0	0	4	4	5	3	3
(社)日本アレルギー学会 アレルギー専門医	5	1	0	0	0	6	6	8	10	5
(社)日本核医学会 核医学専門医	10	0	2	1	0	13	10	11	11	11
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	2	0	0	0	1	3	4	4	4	2
(社)日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	1	0	1	0	0	2	2	2	2	1
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	5	0	2	0	0	7	6	6	5	4
(社)日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	1	0	2	0	0	3	2	3	2	3
(社)日本熱傷学会 熱傷専門医	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	1	0	0	0	1	2	2	2	1	1
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	1	2	1	1	0	5	11	3	7	7
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	4	2	0	1	0	7	9			
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	5	0	2	0	0	7	8	8	6	5
(社)日本生殖医学会 生殖医療専門医	2	0	0	0	1	3	3	4	4	3
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	3	0	0	0	1	4	3	2	3	3
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(社)日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本精神神経学会 精神専門医	5	0	1	1	1	8	8	3	8	6
日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0
日本緩和医療学会 暫定指導医	2	2	0	1	0	5	5	5	4	0
がん治療認定医機構 がん治療認定医	49	5	12	11	3	80	75	61	80	51
がん治療認定医機構 暫定教育医	10	2	4	2	2	20	14	17	21	12
(社)日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	5	0	1	2	0	8	9	7	6	6
日本内視鏡外科学会 産婦人科領域技術認定所得者	1	0	0	0	0	1	1	1	1	4
日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所得者	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	5	0	1	1	0	7	5	3	4	1
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域技術認定所得者	6	0	1	2	0	9	6	7	3	4
日本IVR学会 IVR専門医	4	0	1	0	1	6	6	6	6	4
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	10	0	2	1	0	13	12	12	12	10
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	3	1	1	2	0	7	6	7	12	10
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	12	0	6	0	4	22	29	28	12	11
歯科医師										
(社)日本口腔外科学会 口腔外科専門医	4	1	1	0	0	6	6	6	6	5
(社)日本病理学会 口腔病理専門医	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015 合計	2014年	2013年	2012年	2011年
看護師										
(社)日本看護協会 がん看護専門看護師	3	0	1	0	0	4	4	4	2	0
(社)日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	4	2	1	0	2	9	8	7	6	6
(社)日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	2	0	0	0	2	2	1	0	1
(社)日本看護協会 乳がん看護認定看護師	2	1	0	0	0	3	1	0	0	0
(社)日本看護協会 緩和ケア認定看護師	2	2	1	2	1	8	8	8	7	6
(社)日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	3	1	1	1	1	7	6	6	4	5
(社)日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(社)日本看護協会 手術看護認定看護師	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1
(社)日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	1	0	0	1	2	2	1	1	
日本IVR学会認定看護師	5	0	11	0	0	16	17	17	14	10
3)その他専門的技術・知識を有する医療従事者										
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	3	0	0	0	0	3	1	1	0	0
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	1	1	1	0	3	6	3	6	7
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0	1	0	1	0	2	2	2		
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	5	3	8	2	3	21	17	17	9	5
日本臨床細胞学会 細胞検査士	4	2	0	3	1	10	10	13	16	11
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	4	2	4	2	3	15	16	16	16	14
日本医学放射線学会 医学物理士	1	0	0	1	0	2	2	2	2	2
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	3	1	3	1	2	10	10	9	7	5
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	4	1	3	1	2	11	11	10	10	8
四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	6	2	3	6	3	20	22	17	16	13
合計	607	89	193	105	91	1085	1036	961	929	803

2014年 計	591	75	180	107	83	1036
---------	-----	----	-----	-----	----	------

2015/患者数・診療件数の状況

1)患者数等	鳥取大学医学部付属	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015年合計	2014年
年間新入院患者数（平成26年1月1日～12月31日）※1	14,628	4,452	9,046	7,322	5,693	41,141	41,454
年間新入院がん患者数（平成26年1月1日～12月31日）※2	4,034	1,339	2,421	1,030	1,445	10,269	10,722
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	27.6%	30.1%	26.8%	14.1%	25.4%	25.0%	25.9%
年間外来がん患者延数（平成26年1月1日～12月31日）※3	64,316	54,898	32,333	15,746	17,612	184,905	212,231
年間院内死亡がん患者数（平成26年1月1日～12月31日）	155	136	147	111	149	698	725
新入院患者数(原則、平成27年4月1日～7月31日までの新入院患者。) ※1	4,871	1,580	3,175	2,370	1,942	13,938	13,605
新入院がん患者数 ※2	1,354	618	783	301	440	3,496	3,297
(入院患者数に占めるがん患者の割合)	27.8%	39.1%	24.7%	12.7%	22.7%	25.1%	24.2%
うち肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)※	256	108	177	62	84	687	598
うち胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)	79	61	67	33	67	307	315
うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)	41	110	101	27	102	381	364
うち肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)	163	24	31	31	50	299	362
うち乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)	56	83	13	28	62	242	165
※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。							
2)麻酔及び手術等の状況(平成27年4月1日～7月31日)							
全身麻酔件数総数	1,220	451	635	414	395	3,115	3,262
ア 悪性腫瘍手術総数	341	167	201	254	142	1,105	1,048
イ 肺がん(C34\$)の手術件数							
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	4	6	0	5	0	15	9
胸腔鏡下手術 K514-2\$	28	5	27	5	17	82	87
ウ 胃がん手術 (C16\$)の手術件数							
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	5	9	6	9	6	35	15
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	21	1	9	11	8	50	43
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	2	0	0	0	2	4	24
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	15	7	15	5	1	43	11
エ 大腸がん手術 (C18\$, C19, C20)の手術件数							
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$	6	20	10	4	4	44	33
腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$	16	5	16	13	27	77	70
内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K739-2	0	12	27	110	9	158	157
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数							
開腹手術 K695\$	3	1	4	3	2	13	18
腹腔鏡下手術 K695-2	0	0	4	0	1	5	4
マイクロ波凝固法 K697-2	0	0	0	0	0	0	0
ラジオ波焼灼療法 K697-3	39	2	1	11	5	58	20
カ 乳がん (C50\$)の手術件数							
手術 K476\$	22	17	11	15	14	79	77
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	0	0	0	0	0	0
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	2	0	1	0	2	5	6
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	0	0	0	2	0	2	2
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	3	0	0	0	0	3	1
キ 転移性肺がん (C780)の手術件数							
開胸手術 K511\$, K514\$, K518	2	1	0	0	1	4	1
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	7	2	4	1	2	16	14
ク 転移性肝がん (C787)の手術件数							
開腹手術 K695\$	2	0	2	1	1	6	13
腹腔鏡下手術 K695-2	0	0	2	0	1	3	5
3)放射線治療							

1)患者数等	鳥取大学医学部付属	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015年合計	2014年		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、下記を参考に、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。									
ア-1	すべてのがんを対象にしたのべ患者数(平成26年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数) 例:平成26年3月に新患として放射線治療を受け、同10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。								
	・体外照射		336	121	201	110	112	880	845
	そのうち特殊なもの								
		定位照射(脳)	0	0	0	1	0	1	0
		定位照射(体幹部)	5	0	0	2	0	7	6
		強度変調放射線治療(IMRT)	31	0	0	0	0	31	32
	・小線源治療	45	0	0	4	0	49	54	
ア-2	我が国に多いがん患者を対象としたのべ患者数(平成27年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数) 例:平成26年4月に新患として放射線治療を受け、同10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。								
	・入院								
		肺がん	18	13	6	3	2	42	54
		胃がん	0	0	0	0	1	1	3
		肝がん	4	0	0	0	1	5	6
		大腸がん	4	4	0	0	0	8	4
		乳がん	0	4	0	1	13	18	5
	・外来								
		肺がん	1	5	0	3	3	12	19
		胃がん	0	0	0	1	0	1	6
		肝がん	0	0	0	0	0	0	3
	大腸がん	5	1	2	0	0	8	5	
	乳がん	17	25	3	10	1	56	64	
イ-1	全てのがんを対象とした照射回数(平成27年4月1日～7月31日ののべ照射回数)								
	・体外照射		2,957	1219	941	664	1009	6,790	7,370
	そのうち特殊なもの								
		定位照射(脳)	0	0	0	0	0	0	0
		定位照射(体幹部)	8	0	0	1	0	9	12
	強度変調放射線治療(IMRT)	434	0	0	0	0	434	453	
	・小線源治療	32	0	0	0	0	32	41	
イ-2	我が国多いがんを対象としたのべ照射回数(平成27年4月1日～7月31日)								
	・入院								
		肺がん	339	112	75	78	23	627	885
		胃がん	0	0	0	0	1	1	26
		肝がん	91	0	0	0	6	97	71
		大腸がん	85	53	0	0	0	138	90
		乳がん	0	97	0	1	11	109	80
	・外来								
		肺がん	4	154	0	49	65	272	197
		胃がん	0	0	0	25	0	25	0
	肝がん	0	0	0	0	0	0	60	
	大腸がん	101	27	55	25	0	208	261	
	乳がん	430	633	86	232	270	1,651	1,438	
4)がんに係る化学療法(平成27年4月1日～7月31日)									

1)患者数等			鳥取大学医学部付属	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	2015年合計	2014年
ア	のべ患者数	入院患者数	505	152	233	76	89	1,055	815
		外来患者数	448	138	319	142	106	1,153	1150
	*1レジメンを1人と数える。内服のみのレジメンは対象外とする。)								
	例: 当月中にエトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。								
イ	のべ処方件数	入院処方数	4,670	559	1,038	82	747	7,096	6,392
		外来処方数	87,382	2746	2,246	1128	1284	94,786	90,431
	* 抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。								
	例: 当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。								
のべ患者数 (内服のみのレジメンで実施した化学療法1レジメンを1人として数える)									
ウ	のべ処方人数 (内服のみ)	入院	0	53	54	28	6	141	142
		外来	0	419	458	106	109	1,092	1,158
のべ処方件数 (内服のみのレジメンで実施した化学療法1レジメンを1人として数える)									
エ	のべ処方件数 (内服のみ)	入院	0	2052	1,243	523	93	3,911	3,128
		外来	0	47,413	37,013	6,210	6609	97,245	69,365
5)検査等の実績状況									
ア	病理診断の件数								
	病理診断 (平成26年1月1日～12月31日)		7,338	1,696	4,385	2,609	1,740	17,768	17,915
	細胞診診断 (平成26年1月1日～12月31日)		3,948	1,659	5,677	2,953	3,160	17,397	18,379
	病理組織迅速組織顕微鏡検査 (平成26年1月1日～12月31日)		540	118	135	69	87	949	892
	剖検 (平成26年1月1日～12月31日)		29	0	7	2	0	38	38
	剖検率 (平成26年1月1日～12月31日)		6%	0.0%	2%	0.5%	0.0%		
イ	画像診断等の件数 (平成26年1月1日～12月31日)								
	上部消化管内視鏡検査								
	(食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		3,678	1,926	4416	1,598	1,936	13,554	16,458
	気管支内視鏡検査								
	(気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		244	45	187	74	105	655	469
	大腸内視鏡検査								
	(大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		1,408	805	1638	943	1,074	5,868	5,385
	血管連続撮影								
	(動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)		981	53	1,304	305	688	3,331	4,518
	CT検査 E2001\$		24,098	8,034	16,488	13,176	14,824	76,620	80,111
	CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合		57	12	70	421	0	560	428
	MRI検査 E202\$		9,596	2,598	5,442	3,475	3,665	24,776	22,303
	RI診断検査(シンチグラム) E100\$		680	626	596	187	748	2,837	2,864
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101		1,202	53	628	173	289	2,345	1,780	
PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$, E101-3\$		1,623	0	0	1,171	0	2,794	2,836	
年間セカンドオピニオン外来受診件数			42	7	11	3	1	64	

がん情報サロンボード

2016/07/04

がん情報サロン 富田明人

～がん関連図書の活用状況～

島根県立図書館には、がん関連図書コーナーが開設されています。このコーナーの開設の切っ掛けはがん患者の一人が自分の療養にあまりにも知識や情報が不足しているのに気づき病院に院内図書室の開設を働きかけたのが始まりです。その後多くの病院に院内図書が開設されましたが、患者対象の貸し出しで市民には利用しづらいこともあり公立図書館にがん専用の図書室の開設をと関係機関に要望し2009年に島根県立図書館にがん関係の図書を集約した図書コーナーがスタートしました。

当初、開設には静岡県がんセンターの「あすなろ図書館」を参考に職員を派遣して研修を行うなど苦勞の多い船出でしたが一般の市民に向けた情報や医療関係者向けの専門的な最新の情報が集められ、平成27年度は150冊の書籍が整備され、現在1400冊の図書が集められています。

図書の貸し出し状況は、2015年7月～2016年3月の期間に298冊の貸し出しがありました。その内の貸し出し件数の多い書籍を抽出した貸出ベスト一覧表を作成しました。

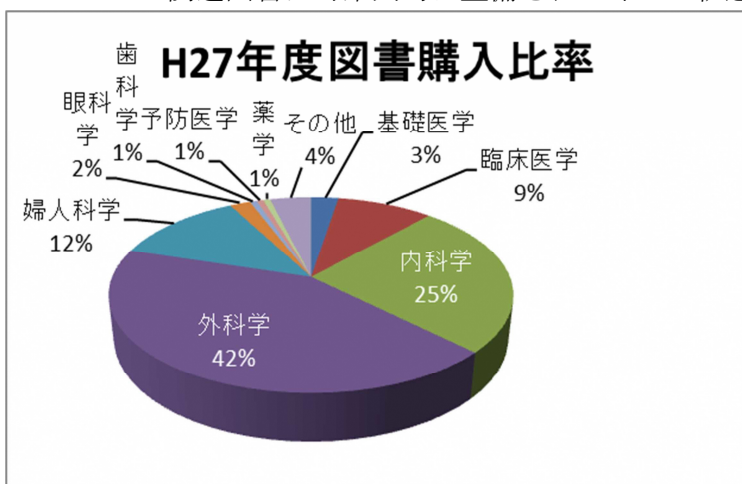
貸出の内容を分析すると、がん啓発の書籍が23件、乳腺・乳房9件、胃がん・大腸がん6件、リンパ系疾患5件と発症数の多い関連書籍が多かった。

H27年度の図書購入の分野別構成比はグラフで表示した。購入数の構成をみると外科学42%、内科学25%、婦人科学12%で、専門的な情報収録した臨床医学9%、基礎医学3%も整備されています。

がん関連図書は時系列的に整備されてやっと軌道に乗ったと思われましたが、がん対策強化事業費の平成27年度には

62万円計上されていましたが、本年度は0予算となっています。がん啓発、情報提供は重点施策であったはずですが、事業の継続性、一貫性のなさに疑問を感じます。島根のがん対策事業は終焉を迎えたとわざるを得ない。

(富田)



がん関係書籍貸し出しベストセレクト

順位	資料名	著者名	利用回数
1	どうせ死ぬなら「がん」がいい	中村 仁一／著	4
1	がんが消える!食事の8原則 晩期がんの改善率64.5%を実証した「奇跡の治療法	済陽 高穂／著	4
1	名医に聞くがんを予防する「食		4
4	悪性リンパ腫	堀田 知光／編	3
4	胃がん手術後の生活読本 早期回復のための食事ケア 退院後の生活と健康管	佐野 武／監修	3
4	世界で一番やさしい胃がん	高橋 信一／著	3
4	これでもがん治療を続けますか	近藤 誠／著	3
4	抗がん剤が効く人、効かない人	長尾 和宏／著	3
4	がんになったら肉を食べなさい がんに勝つ栄養の科学	溝口 徹／著	3
4	近藤先生、「がんは放置」で本	近藤 誠／著	3
4	100日でがんを勝つジュース&ス	済陽 高穂／監修	3
4	非浸潤性乳管癌のすべて	坂元 吾偉／監修	3
4	聖路加病院で働くということ	早瀬 圭一／著	3
4	身ぎれいな終いじたく	天沼 寿子／著	3
4	はなちゃんのみそ汁	安武 信吾／著	3
4	若年性乳がんになっちゃった! ペコの闘病日記	藤谷 ペコ／著	3
17	生と死をめぐる断想	岸本 葉子／著	2
17	末期がん、その不安と怖れがな がん哲学外来から見えてきたもの	樋野 興夫／著	2
17	がんと暮らす人のために がん哲学の知恵	樋野 興夫／著	2
17	放射線被ばくCT検査でがんにな	近藤 誠／著	2
17	看護師・看護学生のためのなぜ 9	医療情報科学研究所／編集	2
17	癌診療指針のための病理診断ブ	青笹 克之／総編集	2
17	やさしい悪性リンパ腫外来治療	飛内 賢正／編	2
17	悪性リンパ腫診療スキルアップ	新津 望／編著	2
17	悪性リンパ腫ハンドブック 2010年版 生きのびるために	大久保 幾久美／編著	2
17	よくわかる肺がんQ&A 患者さんのためのガイドブック	西日本がん研究機構／編集	2
17	胃がん 治療・検査・療養	片井 均／監修	2
17	最新胃を切った人の後遺症 解説と体験者の知恵	青木 照明／監修	2
17	手術日までに患者が知りたい大 検査から治療、術後経過、手術費用まで/腹腔鏡	市原 隆夫／著	2
17	やさしい肝臓病の自己管理	林 紀夫／編	2
17	下垂体腫瘍のすべて	寺本 明／編集	2
17	がんを生きる子 ある家族と小児がんの終わりなき闘い	松永 正訓／著	2
17	「がんもどき」で早死にする人	近藤 誠／著	2
17	What's New in Oncology がん治療エッセンシャルガイド	佐藤 隆美／編集	2
17	がんにならない、負けない生き	平方 眞／著	2
17	ガン消滅 二人にひとりがガンになる時代の自己防衛法	済陽 高穂／著	2
17	今あるガンが消えていく食事 余命宣告からの生還	済陽 高穂／著	2
17	がん診療レジデントマニュアル	国立がん研究センター内科レジデ	2
17	NST・緩和ケアチームのためのが QOLを維持するための 栄養管理	比企 直樹／編集	2
17	がんが自然と消えていく10の習	田村 周／著	2
17	癌は治さなくていい 検診・手術・抗がん剤に頼らない 「癌」の本	松本 光正／著	2
17	がんにならない毎日の食レシピ	済陽 高穂／著	2
17	がんと診断された私が生きるた	広浜 千絵／著	2
17	がん治療のホリスティックアップ エビデンスに基づく医療現場の補完療法とサ	ジェニファー・バラクラフ／編	2
17	がんペプチドワクチン療法	中村 祐輔／監修	2
17	3か月で驚くほどよくなる!がん がんの予防から末期がんまで	済陽 高穂／著	2
17	がん最先端医療活性NK細胞療法	内藤 康弘／著	2
17	腎盂・尿管・膀胱癌	都築 豊徳／編集	2
17	前立腺ガンはもう怖くない! 常識をくつがえす最新治療法のすべて	細井 康男／著	2
17	名医が語る最新・最良の治療 あなたに合ったベストな治療法が必ず見つか	中村 清吾／ほか著	2

がん関係書籍貸し出しベストセレクト

順位	資料名	著者名	利用回数
17	乳がんと診断されたらすぐに読 私たち100人の乳がん体験記	豊増さくらと乳がん患者会bam	2
17	「乳がん」と向き合う 専門医が語る「乳がん治療」の最前線	井本 滋／著	2
17	乳がんのベストアンサー 129の疑問に徹底回答!!	大野 真司／監修	2
17	乳がん あなたらしい治療を選択するために	山内 英子／著	2
17	乳がん 納得のいく治療を選ぶために	岩田 広治／総監修	2
17	乳がん予防・治療・再発防止が 専門の名医が教える「乳がん治療」最前線	井本 滋／著	2
17	イラストでわかる乳がん 再発防止の治療・生活・リンパ浮腫のケア	佐伯 俊昭／監修	2

資 料 島根県立図書館

期間 2015/7～2016/3

がん情報サロンボード

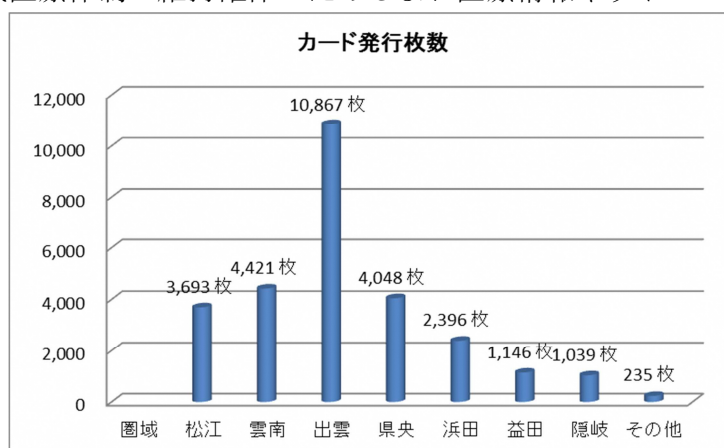
2016/08/01

がん情報サロン 富田 明人

島根のまめネット

島根県の人口の高齢化が進行し 65 歳以上の人口は、平成 27 年には全人口の 32.5% 占めるため、医療に対するニーズが大きくなっている。その一方で医師、専門医が出雲、松江地域に偏在しており、益田、浜田、大田、雲南、隠岐地域での医師不足が深刻な課題となっている。このような医師不足による医療水準の低下を改善するため、県は限られた医療資源を有効に活用し地域医療体制の維持確保のためしまね医療情報ネットワーク事業（まめネット）を開始した。県はネットワークの基盤を整備し、運用は NPO 法人しまね医療情報ネットワーク協会が担い平成 25 年 1 月から運用を開始した。

カード発行枚数は（H28.5 月実績）27,845 枚であるが、地域格差があり県東部の松江、雲南、出雲地域で 68%を占める。



参加医療機関総数は、768 施設（H28.5 月）地域別にみると出雲、松江、雲南地区が多く県東部に集中している。

業種別 では介護施設 317、診療所 283、病院 42 となっている。

加入数の多いのは出雲地域で、特に介護施設の登録が 215 件と突出している特色がみられる。（表一）

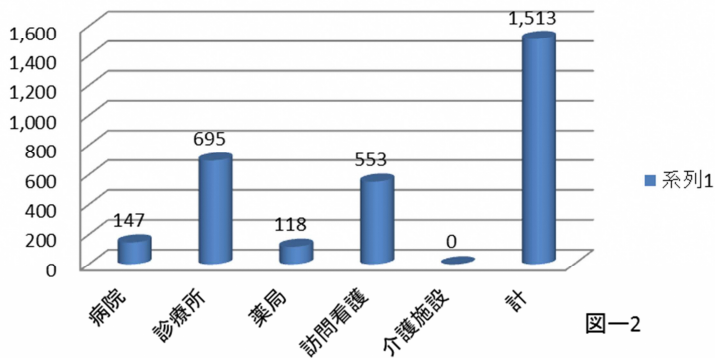
このことから出雲地域では、介護保険者が保有する認定情報を居宅介護支援事業所等に提供する「認定情報提供サービス」、居宅介護支援事業者と介護サービス事業者間の「ケアプラン交換サービス」等医療機関と介護施設で在宅ケアが必要な患者の情報を共有する「在宅ケア情報共有サービス」をまめネットの活用で質の高い在宅ケア支援サービスが行なわれている。

参加医療機関数 (H28.5月実績)

圏域	病院	診療所	薬局	訪問看護	介護施設	その他	計
松江	12	79	16	9	36	7	159
雲南	4	20	9	4	39	1	77
出雲	9	103	27	14	215	11	379
県央	3	27	3	3	5	0	41
浜田	7	37	8	5	22	4	83
益田	5	7	2	1	0	0	15
隠岐	2	10	2	0	0	0	14
計	42	283	67	36	317	23	768

表一 資料：島根県医療政策課

カルテ利用件数 (H28年5月実績)



図一2

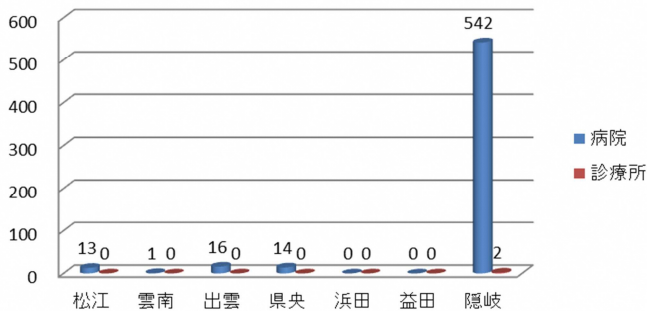
まめネットの主な活用状況では、連携カルテの利用件数の総数は1513件で診療所、訪問看護、病院、薬局の順で登録数の多かった。(図一2)

紹介状の送・受信状況は、出雲、松江、隠岐での使用が多く、特に出雲では病院、診療所間の連携は進んでいる。

その他の地域での「まめネット」の活用は広まっていない。(表一2)

画像利用の件数は588件でその内大半を占める隠岐病院の利用件数が542件と多い。その他の地域では利用件数は伸びていない。離島と言う特殊な条件が関与していると思われる。画像送信用のサーバーの設置も42病院中18病院で整備率は42.9%である。

画像利用件数 H28/8月



紹介状の送、受信状況

圏域	病院(送)	病院(受)	診療所(送)	診療所(受)
松江	5	176	152	7
雲南	1	5	0	8
出雲	464	293	302	435
県央	12	15	13	22
浜田	0	27	25	1
益田	0	0	0	1
隠岐	32	28	23	11
計	514	544	515	485

表一2

今後の課題としては、まめネットの県民への広報活動を強化し認知度を高め地域格差も改善していく施策が必要であろう。

情報提供病院の連携カルテの出力項目の内容の検討も必要である。現在多くの病院が公表しているコンテンツは、患者の属性（アレルギー、病名）等の情報等に限られ、患者に有用な情報である看護記録、入院時サマリ、退院時サマリ、外来サマリ等のコンテンツの記載が欠落している。

今後、各病院においても提供するカルテ情報の拡大について前向きに検討していくことが必要と思われる。

診療医の中には、まめネットの必要性を認めない医師も存在する。魅力あるサービスの提供を期待したい。

(富田)

がん情報サロンボード

2017/01/05

がん情報サロン 富田 明人

あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。皆様にはつつがなく新年をお迎えになったことと存じます。

我が家では、元旦は小豆雑煮で祝うのが恒例の行事となっていますが、皆様のお家ではいかがでしょうか。子供の時は母が前夜から煮込んだ小豆雑煮でしたが、近頃はお店で買ったゆであずきで代用しています。

初詣は熊野大社に参詣するのが我が家のいつもの行事です。今年は天気が良く車が渋滞するのは毎年のことですが参道に行列ができ30分以上並んだのは初めてでした。たまたま良い天気に恵まれたのか、幸運を願う人々で境内は人人でした。

昨年はがん治療分野に画期的な変化がみられました。従来がん治療は外科療法、放射線療法、薬物療法の3大療法が基本でしたが、DNA解析技術が急速に進歩した結果自分のゲノムやがん細胞の遺伝子異常を調べる事が出来るようになり、これを活用したがん治療の新しい分野としての免疫療法という選択肢が増えました。

従来の薬物治療はがんの種類による治療で副作用のみで治療効果が得られないこともありました。DNA解析の進歩は患者一人一人に合った投薬の実現が視野に入りオーダーメイド医療の方向性も見えてきました。

高額のがん治療薬が話題となりました。がん治療薬「オプジーボ」、この薬は患者一人に年約3500万円かかるといわれ、国内価格は米国や英国の2~5倍の高額で、医療保険制度や財政を圧迫するとの議論が沸騰し国は薬価を半額に下げると決めたことと報道されました。患者には安い薬が提供されるのは有難いですが、同じ薬の薬価が欧米に比べ2~5倍高い理由が分からずいきなり薬価が半額に下げることの仕組みも理解できないですね。

今年も課題が多い年となりそうです。皆様には元気で幸せな年になりますように！！

(富田)